



No.162

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	2度目の緊急事態宣言延長中！	…… 1	カレンダー	2021年3月のcomm cafe ランチカレンダー	…… 5
報告	「反うわさ戦略」について考える	…… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 6
			巻末	編集後記	…… 8

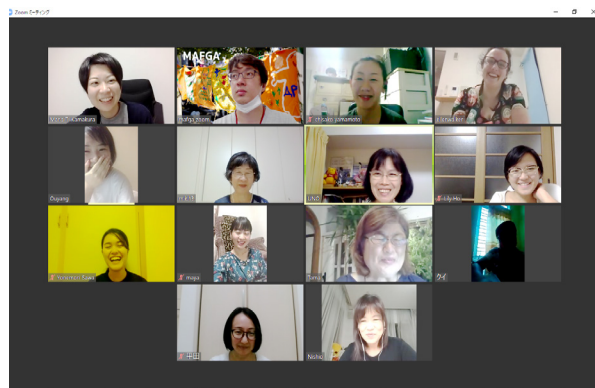
2度目の緊急事態宣言延長中！ 協会事業のいま

㊦ 試行錯誤の日本語教室

2021年1月14日の2回目の緊急事態宣言発出以降、協会ではすべての日本語教室をオンライン開催に切り替えた。「学びが継続できて、ありがたい」と学習者には好評のようだが、教える側にとっては教え方や教材の使い方も変わり、試行錯誤が続いている。

ずっとマスクを着けて学んできた日本語教室。オンラインになってはじめて「マスクを外した相手の顔を見ることができた」という声も聞こえる。一方で、自宅にインターネット環境がなかったり、オンラインでの接続は苦手という理由で、活動を辞退する学習者、ボランティアも。対面とオンライン。それぞれの良さと難しさを理解した今、日本語教室のあり方も多様になっていきそうだ。

長年、協会が主催する日本語教室「ささゆり」「あかね」で教えている宮阪蓉子さんは、「教える側としては、オンラインだと学習者が漢字をきちんと書けているのか、発音ができているかの確認が圧倒的に難しい」と話す。「センターで開催している時は、多文化子ども保育のボランティアが未就学児の子どもを見てくれるので、保護者は安心して勉強に集中できていたが、オンラインでは学習に集中できていない方もいるようだ」と懸念を漏ら



オンラインでの日本語教室（菅野にほんご）の様子

した。

「ささゆり」「あかね」に通う学習者の背景は実にさまざまだが、やはり同じ言葉話す同士、留学生同士などで集まりがち。「地域の日本語教室では、学習面だけでなく授業前後の学習者同士の何気ないおしゃべりなど、一見ムダに思えることが実はとても大切」と、宮阪さんは話す。「日本語教室に来なければ会わなかったであろう、出身も、言語も背景も違う学習者同士が、この場がきっかけとなりお互いを知る。日本語教室は、自分の世界が広がる場所なんです」と、コロナ禍であらためて感じている対面授業の意義を語る。



発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

賛助会員数：318名 法人会員数：29団体（2021年2月12日現在）

🌐 語学講座×オンライン

4月の緊急事態宣言発出時は1か月お休みをしたため、例年よりひと月遅れて開講した「国際理解のための語学講座」。2回目の緊急事態宣言にともない、1月中旬からすべての講座がオンラインに移行した。

協会で最も多くの英会話講座を担当する東堂マリナさんは、「もともと英語を教えることがとても楽しくてたまらない！語学講座は新しい人と出会うチャンスであり、受講者の学び方も吸収できるよい機会。オンラインでもこの気持ちは変わりません。講師として一番気になるのは、学習者さんが理解しているかということ。大小さまざまなクラスを担当しているが、対面であれば難なく感じ取ることができていたのだけれど…そのため、いつもより受講者さんに言葉をかける頻度を上げました。最初はお互いに緊張していたけど、回数を重ねるごとに慣れてきて、今では対面と同じような手ごたえを感じています」と、語ってくれた。「ただ、受講者さんがオンラインでも対面と同じくらいの満足度を感じているのか、正直気掛かりなんです」と、こぼした。コ

ロナが流行り始めたころは、仕事がなくなるのではと気持ちが落ちこんだそうだが、人生は学びの連続であると心得て、どんな事態も糧にしていこうとマリナさん。これからも思いのこもった授業で受講者を惹きつけてほしい。



マリナさん

さて、来年度の語学講座は例年よりもひと月早く4月から開講予定である。「国際理解のための語学講座」を通し、コロナ禍で内向きになりがちだった心を、ぜひ未知の世界へ向けるきっかけにしたい。2021年度「国際理解のための語学講座」については、

- ・もみじだより2月号
- ・協会HP mafga.or.jp
- ・各公共施設に配架されているチラシ

などをご参照ください。(河合)



「反うわさ戦略」について考える

1月22日、「国際交流協会ネットワークおおさか」＊1 主催の研修会がとよなか国際交流センターでおこなわれた。スペインの多文化共生施策について研究している上野貴彦さん（一橋大学院生）をオンラインで講師に迎えワークショップをおこなった。

📣 「反うわさ戦略」とは？

1992年のバルセロナオリンピック以降、徐々に移民人口が増えたバルセロナ市では、外国人に対し、「移民により都市のアイデンティティが失われる」、「〇〇人が我々の職を奪っている」といった「うわさ」が増えていた。このような状況に対し、行政と市民のグループが一緒になって対抗策を考える取り組みが「反うわさ戦略」である。

戦略の対象は、うわさを信じかけた「迷える大多数（マジョリティ）」の住民。「うわさ」が本当かどうか、大学や市と連携して正確な情報を調べたり、実際に外国から来た移民の人たちの話をじっくり聞いたりすることで、ともに地域で暮らす住民を「移民」や「〇〇人」と単純にくくり、ステレオタイプ＊2で見ないようトレーニングする。ポ

イントは、団地の自治会や移住者の団体、商工会議所などの呼びかけで、地区ごとに（互いに顔のわかるくらいの規模で）集まってユーモラスな反論方法を考え、一緒にオリジナルの「反うわさ戦略」をつくること。その取り組みは単発の企画で終わるのではなく、やる気のある個人や組織を中心に、できるだけ継続的に集まりを持つ（そのための場や予算は行政が支援）。

参加者は日常生活で使えるスキル（うわさを聞いたときにどう反応するか）や知識（その地域のデータなどから、外国人＝犯罪率が高い、ということはないことを学ぶ）を得るが、その内容はパンフレットになったり、移民の人達のストーリーを地域の漫画家が作品にしたり、「反うわさ団」としてのオリ

ジナルグッズ(ステッカーや缶バッジ)をつくって配ったりと、ユニークな形で広く拡散されていく。ヘイトクライム(憎悪犯罪)などの犯罪をすぐ止められるような即効性はないが、漢方薬のように、じんわりと地域に時間をかけて反差別の意識を浸透させる効用がある。

【大阪ではどんな「うわさ」が?!】

バルセロナでの状況はわかったが、たとえば大阪で、私たちのような国際交流協会ができることは何だろう? 今回の研修では、自分たちが日々職場や地域で耳にする「うわさ」や「偏見」を集め、それにどう対抗するかを考えるワークショップをおこなった。

「外国人=英語をしゃべる」、「〇〇人は時間にルーズやけど、あなたは違う」、「国際交流協会は外国人だけに優しい。日本人は逆に差別されている」etc.. 出てきたうわさや偏見はさまざま。

ワークの後半では、出されたうわさに対する具体的な対策を話し合い、次のような意見が出された。「知らず知らずの偏見が刷り込みのようにあること、またボランティアさんの中には、日本語を『教えてあげている』とか、割と上から目線だったりすることがあるので、偏見の根底にある『マイクロアグレッション』*3について勉強しながら、固定観念や偏見を克服できないか」、「他機関の人や若い人、移住者が集まっていっしょに読書会をするのもよいかもしれない」、「『隣の晩御飯』のテレビ番組みたいに、移住者や市民の家を訪問して暮らしぶりを発信するのはどうか」。

【ワークを終えて、共有されたこと】

多様性を尊重するまちづくりは、行政と地域社会が一丸となり、差別を許さないという意思表示と仕組みづくりをおこなっていることが大前提だ。しかし日本には、欧州にあるような差別を厳しく禁止する法的枠組みも、外国人市民の人権を尊重するための教育カリキュラムも、ほとんど整っていない状況がある。

今回のワークでも、外国人当事者が思い出すのもつといううわさや偏見がいくつか見られた。アドバイザーとして参加していた郭辰雄さん(コリア NGO センター代表理事)は、「欧州は『ヘイトスピーチ』を厳しく規制するが、日本ではヘイトスピー

チ解消法はできたものの、『表現行為』の1つとみなされたり、罰則規定が科されていない状況がある。その中で『反うわさ戦略』をどう広げていくか。市民の中で対抗戦略をどう作るのか。『それは違うやろう』と言うと、『お前は反日か?』と言われたりするような風潮がある。今はむしろ、政治家やマスコミみたいに、本来そういう偏見を止めないといけない人たちが、あおるような空気がある。国際交流協会でも、『韓国ってけしからんよな』って言葉が出てきたら、やり過ぎなのか、反論するのか、対話をするのか。その場の対応だけでなく、中長期的にどう向き合っていくのかも同時に考えないといけない」と話した。

感想共有の時間では、外国にルーツのある参加者から「当事者の人たちを『反うわさ戦略』にどう巻き込んでいくのか、ものすごく難しい。うわさであっても、怒りや無力感を感じることもたくさんある。当事者は、このワークを通じて自らに向けられたネガティブな体験を再認識することになるので、それは怖いことだ」という声が寄せられた。ヘイトを禁止する法律のないところで安易にこのワークをすると、「差別のまき散らし」につながったり、いろいろな視点に対する対応が不十分で、ともに参加した上司や同僚、知人らの認識不足がかえって露呈する。それは、ただでさえ日常的なストレスを抱える当事者をさらに傷つけることになるだろう。

講師からは、外国人の人権を尊重する枠組みが整っている欧州でもそのリスクがあるので、当事者が安心して同じルーツを持つグループなどに、いつでも思いや意見を言える環境が必須、とのことだった。



移民女性のライフストーリーをまとめた冊子

【誰もステレオタイプからは逃れられない】

世界は複雑すぎるので、自分も含めて、ステレオタイプなしに物事を理解することは不可能だ。ただ、そのステレオタイプが、その場にいる外国人市民にとってネガティブな方向に向かうかどうか、が許容範囲の判断基準となるだろう。マイクロアグレッションについて指摘されると、マジョリティ側は「気にしすぎじゃない?」「みんな同じような目にあっているよ」「日本人も優遇されていない」「気にしすぎると何も話せなくなる」など、悪意なく善意ややさしさ、励ましの気持ちを口にする人が多い。しかしこうした発言は、ヘイトスピーチを個人の「感じ方」や「弱さ」の問題にすり替えることになるし、外国人市民は「日本人に同化」しない限り「よそ者」「二級市民」であるということ容認することを意味している。

マイクロアグレッションや差別問題において変わらなければならないのは、「迷える大多数(マジョリティ)」の側であるが、社会の仕組み・制度を変えることや、自分自身すら気づかない偏見を変えることは容易ではない。誰しも生きていて苦しいことやつらいと思うことがある中で、自分の特権性にも気づくことができるかどうか。欧米のような教育カリキュラムがない分、余計に難しいだろう。

マイノリティだけに立ちはだかる「見えない障壁」を、それを見ずに住む立場にあるマジョリティの“無意識の”特権を持った人が、どうそれに意識を集中させ、世の中を少しでも変えようとする方向へ行動できるか。国際交流協会は、行政と市民をつなぐ中間的な存在であるからこそ、それらを敏感にキャッチし、市民がユーモアあふれる戦略でうわさに立ち向かうことを応援しつつ、現場でおきている差別や偏見の事象をきちんと行政に届け、差別に立ち向かう枠組みづくりを進めようとする姿勢が不可欠であると、改めて認識した。(岩城)



研修会の様子@とよなか国流

※1 国流ネットワークおおさか：大阪府内の国際交流協会や自治体が集まって、情報交換や研修企画などをおこなうネットワーク。現在府内の6つの国際交流協会と4つの自治体、一つのNPOが参加している。

※2 ステレオタイプ：国籍や文化的背景、宗教、性別など、特定の属性を持つ人に対して、多くの人が抱いている単純化された固定観念や思い込み。

※3 マイクロアグレッション：日常に潜む「小さな攻撃性」。ありふれた日常の中にある、ちょっとした言葉や行動や状況であり、意図の有無にかかわらず、特定の人や集団を標的とし、人種、ジェンダー、性的指向、宗教を軽視したり侮辱したりするような、敵意ある否定的な表現のこと。

反うわさ戦略のつくりかた

日本語ダイジェスト版

(上野貴彦 翻訳・編集)

<https://rm.coe.int/antirumours-handbook-2018-version-japonaise/16809ee073>



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科 おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】〒562-0023

箕面市栗生間谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

☑ 無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

3月
March

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 09:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

日・祝日

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

…10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

★ランチセット (ドリンク付 510 円)

…09:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ☒ … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P 6・7 をご覧ください。

comm cafe からお知らせ

平日もモーニングははじめました! 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆

手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、ゆで卵
NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
1 休館日	2 ティさん 《ベトナム》	3 トゥエットさん 《ベトナム》	4 李さん 《コリア》	5 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	6 ショウクさん 《サウジアラビア》 ☒ 写真展: ～3/14まで パレスチナで迷子になって	7 ランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
8 休館日	9 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	10 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	11 チームシカモ 《インド & 多国籍》	12 セバルさん 《トルコ》	13 アブドゥさん 《セネガル》 ☒ パレスチナで迷子になって 15:00 ～ 16:30	14 ランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
15 休館日	16 ノックさん 《タイ》 ☒ フェアトレードにふれる コーヒー編 10:00 ～ 11:00	17 オリガさん 《ベラルーシ》 ☒ シカモ・サロン (モンゴル語) 10:00 ～ 11:00	18 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	19 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	20 ☒ コムカフェ 7 年の歩みを 振り返る 14:00 ～ 16:00 協会事業のためラン チはお休みです。 ★カフェはイベントのみ	21 ランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ～ 13:00 ☒ アートの小箱を開けてみる 12:00 ～ 14:00
22 休館日	23 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	24 ランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	25 ノックさん 《タイ》	26 洪さん 《コリア》	27 ティさん 《ベトナム》	28 ランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
29 休館日	30 いずみさん 《ベトナム》	31 李さん 《コリア》	コムカフェクーポン (ピンク) の利用期限は 2021年3月31日まで です。			

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで
※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

電話: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** E-mail: **info@mafga.or.jp**

活動報告会

3/13 (土)
15:00 ~ 16:30

パレスチナで迷子になって

大学時代にパレスチナで1か月ホームステイ経験がもたらした出会いから「架け箸」を立ち上げることとなった経緯と、活動内容を知る。
◎高橋智恵 (社会起業家・架け箸代表)

同時開催: 写真展パレスチナで迷子になって 3/6 (土) ~ 14 (日)

定員: 10名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 300円~ (ドリンク代)



オンライン

3/14 (日)
13:00 ~ 17:00

子どもの夢応援ネットワーク ともにいきるシンポ Part4

外国につながる若者の支援を实践・実績から学ぶ

~地域で暮らす生活者としての外国につながる若者が抱える問題、解決策を考えよう~

◎堀永乃 (一般社団法人 グローバル人材サポート浜松代表)

◎田中宝紀 (NPO 法人 青少年自立援助センター)

◎高橋清樹 (認定 NPO 法人 多文化共生教育ネットワークかながわ事務局長)

場所: オンライン

参加費: 無料 (要事前申込み)



連続企画

3/16 (火)
10:00 ~ 11:00

フェアトレードにふれる コーヒー編

公正で公平な取引 (フェアトレード) がなぜ大切なのか、商品を実際に手にして、その背景の物語にふれる。

◎斎藤和子 (みのおフェアトレードの会 楓)

定員: 10名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 100円

別途ドリンクの注文が必要 (300~)



定例イベント

3/17 (水)
10:00 ~ 11:00

シカモ・サロン 「ス・ホの白い馬」をモンゴル語で読む

外国人市民グループ チーム・シカモのメンバーが、多言語で詩や文学を紹介する。

◎ムンフバヤスガラン (バイサ) モンゴル語

定員: 10名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 500円 (お茶菓子つき)



報告会

3/20 (土)
14:00 ~ 16:00

「コムカフェ」7年の歩みを振り返る

40の国と地域から80人の外国人市民が参画してきたコムカフェの歩みを振り返る。

◎金姫廷 (協会職員)、崔聖子 (コムカフェアドバイザー)

定員: 25名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 300円~ (ドリンク代)



ワークショップ

3/21 (日)
12:00 ~ 14:00

アート的小箱を開けてみる アート×街づくり

神戸で地域に根差したアート活動を企画している衣笠収さんを迎え、北摂や箕面でのアートと街づくりについて考える対話型ワークショップ。

◎野崎ターラー (協会職員)

定員: 10名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 300円~ (ドリンク代)



大切な
お知らせ①

大切な
お知らせ②

コムカフェクーポン (ピンク) のご利用期限が迫っています!

期限は **2021年3月31日** までです。お早めにご利用ください!

4月から賛助会員制度が変わります!

- ① 個人会員 (2,000円) が廃止となり、税額控除が受けられる個人寄付会員 (3,000円) と、法人会員 (10,000円) に統一されます。
- ② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能になります。



唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で38年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

*バレエコース: 教師歴55年の唐木幸子と、「ロシア国立ベルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書 (Diploma) 取得、教師歴25年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層 (3才~70才位) で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

会議日程

読合せ 第2火曜日 14:00 ~ (次回は3月16日)
編集会議 第4土曜日 10:00 ~ (次回は3月27日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13:00 ~ (次回は3月30日)
発送 毎月最終水曜 13:30 ~ (次回は3月31日)

場 所

箕面市立多文化交流センター 2階

編 集 後 記

モーレンカンプふゆこという歌人がある。オランダに渡って結婚、二児を育てながら朝日歌壇に投稿し、85年に朝日歌壇賞を受賞。句集も出している。ずいぶん前になるが、彼女のインタビュー記事を読んだことがある。現地の言葉がなかなか上達せず、幼稚園児程度の会話しかできないために子ども扱いされて、それがそのまま自分への評価のように感じるという趣旨だった。もどかしさ、悔しさが日本語での創作の原動力になったらしい。私も2年ばかりだが海外生活の経験があったので、彼女の抱く複雑さに覚えがあった。一人の人間としての尊厳に関わる大きな問題だと心に残っている。

シジフォスの神話に似たり覚えてはすぐ忘れゆく我が蘭語かな

異文化の壁に囲まれ独房の刑受けるごと祖国捨てれば

夕暮れの山河駆けゆく夢を見き追われるごとく歌を読みつつ

(『たんぽぽのうた』より)

どこに住もうと、人はそれぞれに環境や性格が違い、言語の能力や感覚も異なる。いろいろなありようが認められること、しかしあまり不便を感じずに暮らせて、ささやかな楽しみも持てること。それらが可能ならば、誰にとっても良い社会であらう。

「めろん」のボランティアを始めて数ヶ月が経つ。実際に参加してみると、インタビューやイベント報告、書評など、一つの記事を練り上げていく編集会議での討議は激しく、厳しく、自己の発露の場でもあると同時に、試されているような感覚がある。ただし、学びがあって、それも楽しい。読んだものの切り貼りのみで自分の思考が固まっていなかった、疑ってみなければならぬのだ。多文化共生の一助となれるよう、私も「めろん」の一員として力を尽くしたい。(山下)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 51, 55, 56 58, 59, 66, 79	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	70, 78	① 小野原
		② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、平沢清美、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/